

# つるせ西だより



～今月の特集～  
新河岸川  
散策

第183号(6月号)2023. 6. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 **53**



アルピス鶴瀬敷地内の広場

## 緑陰の語り

こすえの葉が風に揺れ、気持ちの良い木陰を作っています。その下でテーブルを挟み、お母さんと子どもが何か楽しげに話をしています。その風景に思わず写真を撮らせてもらいました。場所は、アルピス鶴瀬敷地内の広場の一角にあります。傾斜がある芝生の広場は長い間立入禁止でしたが、現在は子どもたちが走り回り、大人も子どもたちと遊んだり見守っています。そのためか芝生広場の時よりもきれいな、原っぱ状態のようになっています。広場の周りにはケヤキや、クスノキ、桜が植えられています。

身近にある自然に親しみをもちながら、戸外で気持ち良く過ごせるこの季節を楽しみたいと思います。(撮影・文/熊井編集委員)

## まちかどウォッチング

### 鶴瀬西地域の景色も

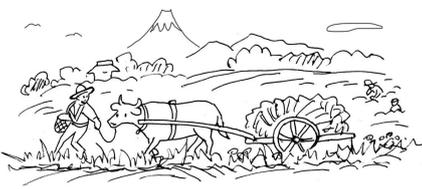
変わりましたね

毎日、散歩は欠かさないようにしています。最近の道路は舗装され、雨の日でもあまり心配なく歩けるいい時代になったな。なんて考えながら、ぶらついていたら、昔は砂利道だったっけ。そうだから80年ほど前の私の少年時代は農道で、荷馬車がようやく通るほどの道幅だったなと思ひ出しました。

が、待てよ、もっと昔はサムライが行走来していたのかも。この道は昔「鎌倉道」だったって聞いたことがあり、鎌倉に政変があると、よろいかぶとを着用し刀を差したサムライたちが、走り抜けたりのりたのでは…なんてことが頭をよぎった。この先には「八ヶ上遺跡」もあり、現代に至るまでの歴史を調べるのも面白いかも。散歩は楽しいね。(萩原)



鶴瀬駅西口から一つの信号



思い出の道